

岩国地区消防組合管理者 福田良彦 殿

2017年12月21日

市民政党「草の根

代表 井原勝介



愛宕山運動施設における火災等への対応について（公開質問状）

愛宕山の運動施設は、日米共同使用とされ、岩国市が運営する都市公園として、11月4日から市民の利用が始まっている。しかし、市内の他の公園と違い、この地区が米軍基地であることに変わりはなく、市民の安全が本当に守られるのか不安がある。

そこで、愛宕山運動施設における火災等への対応について、下記の通り、公開質問状を提出するので、速やかに回答されたい。

記

1. 先般の県議会11月定例会の一般質問に対する県側の答弁では、「火災等が発生した場合の対応については、岩国地区消防組合において、市の公の施設であることを踏まえ、米側と調整を行っている」とされているが、その調整の進捗状況と主な内容を明らかにすること。

2. 岩国市長と米軍岩国基地司令官との間で締結された「現地実施協定」には、火災等への対応として、「平成14年に締結された消防相互応援協定に従う」とされている。要するに、火災等が発生した場合には、米軍が責任を持って対応し、岩国地区消防組合は必要に応じて応援に回るという解釈でいいのか。